

おでかけワークショップ(議員報告意見交換会(上古井))
ヒアリング結果まとめ

1. 開催概要

(1)日時・場所・参加人数(事務局を除く)

日時:2023年10月25日(水) 19:00~20:30

場所:上古井交流センター

参加者(事務局を除く):25人

(2)開催内容

1. あいさつ
2. 情報提供
3. 質疑応答

(3)事務局

美濃加茂市 新庁舎整備推進課

2. 概要

新庁舎整備ロードマップおよび市の役割について情報提供を行い、質疑応答を行った。

(1)質疑応答

市民)

新庁舎のことが良い感じになってきても、市長が交代してまた白紙になったら市民は一体何をしたのかということになる。市長選で相手の悪口をただ言っているようではおかしい。市長が代わるたびに白紙になっているようでは、美濃加茂市は何をやっているのかということになる。

市職員)

やってきていることを形にしたいとは職員も思っている。あとは市民と合意形成できるかというところで全力を尽くしていくので、ご理解をいただきたい。

市民)

継続はしていただけるのか。引き継ぎというか。

市職員)

ロードマップに沿ってしっかり進めていきたいと考えている。

市民)

今市長のマニフェストと言われたが、市長は市長として新庁舎をどうするかというマニフェストというのはあったのか。市長としての考えがあるのかなのか一切聞こえてこない。

市職員)

当時の選挙の時には、今まで作ってきた基本計画の見直しをするということを書いてみえた。

市民)

今日まで、市長が理想とする庁舎の姿というのは一切明かされていないと思う。この前の議会で山田栄議員が市長に密約は絶対ないですねと 2、3 回確認していた。それを聞いて市長はもう頭の中にある程度庁舎のイメージがあるのではないかと思った。市民には権利と義務があるが、義務を果たさずに権利だけ主張する人は市民ではないという本を読んだことがある。前回のアンケートの回答数も少なかったし、真剣に庁舎のことを考えている市民は三割程度しかいないのではないか。市としての計画はもう決まっていて、市民を持ち上げているだけではないか。

市職員)

アンケートの回収率は 45.2%だが、市民満足度調査などのアンケートは全国的に 30%程度というのが一般的であり、かなり高かった印象がある。密約という言葉もあったが、美濃加茂の全域が候補地であり、場所は一切決まっていない。今後、市民からももちろん意見を聞くが、行政としての候補地の案というのも複数示させていただきたい。候補地に関するアンケートもしっかりとっていききたい。

市民)

藤井市長は自分の理想というのはないのか。

市職員)

理想やご自身の考えというのは聞いていない。市民の声を丁寧に聞くということで、ロードマップに沿って進めていくということを書いてみえる。

市民)

前の市長の時の方が駅前と密約していたのではないか。候補地の決定方法で議会とアンケートと住民投票があるが、議会で決めるということは、現在の議員が投票で決まっていないので無いと思う。住民投票しかない。

議員)

地方自治法により、整備地を議会で決めるということは決まっている。当然住民からの意見を得て決定する。また、前市長が密約をしていたとは思っていない。

市民)

駅前開発にするなら更地にして駐車場が必要。今の再開発の考え自体がおかしい。

議員)

今、組合と会社が再開発を進めており、今後説明があると思う。当然議員も市民へ説明していく。

市民)

ロードマップは良いと思う。美濃加茂市は交通も整っているし、人柄もよいと思うので、このまちをどうしていくのかということを考えてまちづくりをしていくと良い。渡辺直由市長の時の、まあいまちみのかもという言葉が良いと思っていた。候補地についてはそれぞれの地区の人で考えがあると思う。これから 10

年後、20 年後のまちのために、誰かに託すという意味で建設的な意見をしていった方がよい。議会の先生たちにも公平な目で見えていただきたい。

市民)

市役所と消防署は絶対に機能停止してはならない。駅前開発は新庁舎とは別でやればよい。新庁舎は高台になければならない。また、50 年後のために、新庁舎が2つできる場所を確保することが必要。候補地は住民投票をした方がよいと思う。

市民)

第2回ワークショップが定員割れしているが、どう思われるか。

市職員)

知らない方と話し合いをすることに抵抗がある人もいるというのは事実だと思う。現在、3日間のワークショップの他にもおでかけワークショップも開催しており、サークル等で何回も呼ばれて行っている。